

オープンイノベーション・シンポジウム
関内のまちの未来

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院が実践するオープンイノベーション教育

横浜国立大学では、これまで都市イノベーション学府で行われてきたスタジオ教育をはじめとする分野連携による相乗効果が期待できる科目に関して、専門分野の異なる日本人学生や留学生、教員に加えて、企業や地域が一体となって社会課題の解決に取り組む実践的なオープンイノベーション教育に取り組んでいます。オープンイノベーション教育により、多角的な視野から地域や地球規模の課題を探究するとともに、解決に取り組める実践的人材を養成することを目的としています。オープンイノベーション教育に本格的に取り組み始めて3年目となるこの度、これまでの取り組み例を報告するとともに、今後のオープンイノベーション教育の可能性について関内エリアを例としてディスカッションします。

日時：2025年3月2日（日） 14:00-16:15 入場無料 開場：13:30-

**会場：横浜国立大学大学院UIパワープラント・ホール
(キャンパスマップN7-2)**

主催：横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院

プログラム

I

14:00-14:15

I. 開会の言葉

都市イノベーション学府におけるオープンイノベーション教育の取り組み

勝地弘（都市イノベーション学府長・研究院長）

II

14:15-15:15

II. オープンイノベーション教育プロジェクト報告

●YNUアーバニストスクールの関内地区での活動

1：「アーバニスト・スクール」

野原卓（都市イノベーション研究院准教授）

2：「イノベーションエコシステム（創造生態系）を描く」グループ発表

グループ1（企画）、グループ2（企画）、グループ3（実践）

●神奈川県立歴史博物館および横浜市歴史博物館との博学連携活動

1：「今年度の博学連携活動概要」

守田正志（都市イノベーション研究院准教授）

2：「神奈川県立歴史博物館との共催展示活動について」

学生発表（2件）

3：「博学連携：神奈川県立歴史博物館との共催展示」

丹治雄一（神奈川県立歴史博物館学芸部長）

4：「横浜市歴史博物館との連携による関家住宅特別公開への協力について」

学生発表（1件）

<休憩>

III

15:30-16:15

III. パネルディスカッション

「オープンイノベーション教育の可能性～関内地区をフィールドとして」

ファシリテータ：大野敏（都市イノベーション研究院教授）

パネリスト：阿諏訪青美(横浜市歴史博物館主任学芸員)、秋元康幸客員教授(元横浜市都市デザイン室長/BANKART1929 副代表)、武田周一郎（神奈川県立歴史博物館学芸員）、野原卓（同上）、藤岡泰寛（都市イノベーション研究院教授）、学生

IUI

都市イノベーション研究院
Institute of Urban Innovation, Yokohama